# 豊川市定例記者会見【令和２年４月】

日時　令和２年４月６日（月）午前 11 時
場所　豊川市役所　本３４会議室（本庁舎３階）

市長あいさつ

皆さんこんにちは。新型コロナウイルスの関係で首相が緊急事態宣言の意向を示し、東京都が２日連続で感染者が１００人を超えたということで危機感を持っています。また、周辺市においても豊橋市・新城市が週末に感染者が出ました。より一層の危機感をもって対応してまいりたいと考えています。

年度始め式に職員の前で話をしました。1 点は無錫市新呉区からマスクが送られてきて、高齢者の多い介護施設や需要の高い医療施設に配布し、職員は手作りマスクなどで引き続き少量のマスクを工夫して使うようにお願いしたところです。

もう１点は今回の組織のことに触れました。昨年の７月末に私が副市長を辞任して以降、空席となっていた副市長の 1 人に池田新副市長に担当してもらうことにしました。

組織の中でも私のマニュフェストの「１丁目１番地」である、大型商業施設の誘致を含めた八幡地区のまちづくりには「八幡駅周辺地区まちづくり推進室」を設け、次長以下７名の体制で渋滞対策を始め、八幡地区のまちづくりを推進していきます。

次に、総合保健センター（仮称）の設置です。これには児童発達支援センターの機能も併設する計画となっています。子育てや子どもの発達機能に不安を抱える保護者の方々の相談機能を充実するため、先行して現保健センターの２階に、保育士・臨床心理士・保健師などの専門職を配置しております。更に、保育園を４年間で７園着手を含め、整備を進める計画となっています。その中で、公立保育園の整備のために係長級職員を１名配置し、保育協会には、建築技師の課長補佐級職員１名を派遣して体制を整えました。これらの組織で対応することで子育て支援の充実をし、豊川市が「魅力のあるまち」更には「勢いのあるまち」に育て上げてくれると考えております。

今年度の予算は６４３億４千万円で、この予算を実行していくことが、私が掲げた３つの基本理念、「暮らしやすさ第一豊川市」「子育て豊川応援団」「市民と創る協働と健全財政のまち」を着実に実践できると思っています。そして、この基本理念に基づいた事業を確実に進めることで、「元気なとよかわ」が更に元気になると思っています。なので、業の適正執行を職員にお願いしたところです。

また職員には、豊川市が元気であるためには職員が元気でなければいけないので、引き続き、「明るく働きやすい職場づくりを心掛け豊川市を職員一丸となって盛り上げていきましょう。」という話をしました。

内　容

（１）池田市長就任あいさつ

（２）新任部長あいさつ

（３）異動部長あいさつ